

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定		2月		3月					4月			5月			6月			備考	
			23	2	9	16	23	30	6	13	下	上	中	下	前	後						
建屋内の除染	共通	(実績) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発(継続) ○【研究開発】総合的線量低減計画の策定(継続) (予定) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発(継続) ○【研究開発】総合的線量低減計画の策定(継続)	検討・設計	【研究開発】建屋内遠隔除染技術の開発 【研究開発】総合的線量低減計画の策定																		
		(実績) ○R/B1階高所干渉物調査(レーザースキャン)(完了) (予定) ○【研究開発】建屋内遠隔除染技術の開発 ・R/B2~3階汚染状況調査(新規) ・R/B1階高所汚染状況調査(新規) ・高圧水遠隔除染装置実証試験(新規)	現場作業	1号機R/B1階高所干渉物調査(レーザースキャン) 1号機R/B2~3階汚染状況調査(準備作業含む) 【研究開発】1階高所汚染状況調査(準備作業含む) 【研究開発】高圧水遠隔除染装置実証試験(準備作業含む)																		
		(実績) ○R/B1階除染作業(継続) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発 ・R/B5階汚染状況調査(継続) ・ドライアイスプラスト遠隔除染装置実証試験(新規) ・R/B2~3階汚染状況調査(新規) ・R/B1階高所汚染状況調査(新規) ○R/B1階除染作業(継続)	現場作業	2号機R/B1階除染作業 【研究開発】2号機R/B5階汚染状況調査(準備作業含む) オペフロフェンス切断 オペフロコアサンプル採取 ガンマカメラ及び線量計の不具合により、3月末完了→4月末完了に見直し 実績反映 作業前倒し3/27→3/26 実績反映 作業終了前倒し4/7→3/20 【研究開発】R/B2~3階汚染状況調査(準備作業含む) 【研究開発】1階高所汚染状況調査(準備作業含む) 【研究開発】ドライアイスプラスト遠隔装置実証試験(準備作業含む)																		
		(実績) ○R/B1階瓦礫撤去作業(完了) ○R/B1階除染作業(準備作業)(継続) (予定) ○R/B1階除染作業(準備作業)(継続) ○【研究開発】建屋内遠隔除染装置の開発 ・R/B2階汚染状況調査(新規) ・R/B1階高所汚染状況調査(新規)	現場作業	3号機R/B1階瓦礫撤去作業 3号機R/B1階除染作業(準備作業) 3号機R/B1階除染作業 【研究開発】R/B2階汚染状況調査(準備作業含む) 【研究開発】1階高所汚染状況調査(準備作業含む)																		
燃料デブリ取り出し準備	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 格納容器調査装置の設計・製作・試験等(継続) ○【研究開発】格納容器補修装置の設計・製作・試験等 格納容器補修装置の設計・製作・試験等(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 格納容器調査装置の設計・製作・試験等(継続) ○【研究開発】格納容器補修装置の設計・製作・試験等 格納容器補修装置の設計・製作・試験等(継続)	検討・設計	【研究開発】格納容器調査装置の製作 【研究開発】格納容器補修(止水)工法の検討・止水試験 【研究開発】格納容器補修(止水)装置詳細設計 水中ROV技術開発(遠隔技術TF)																		
		(予定) ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 ・2号機R/B1階穿孔(北東)(新規)	現場作業	穿孔作業(北東) (S/C下部調査装置実証用)																		
		(予定) ○【研究開発】格納容器調査装置の設計・製作・試験等 ・3号機MS1V室放射線モニタ穿孔作業(新規) ・3号機MS1V室調査(新規)	現場作業	穿孔作業 MS1V室調査																		
燃料デブリ取り出し	共通	(実績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発 ・PCV事前調査装置設計・製作(継続) ・PCV本格調査装置基本設計・要素試作(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発 ・RPV内部調査技術の開発計画立案(継続) (予定) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発 ・PCV事前調査装置設計・製作(継続) ・PCV本格調査装置基本設計・要素試作(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発 ・公募手続き 新規追加	検討・設計	【研究開発】PCV事前調査装置設計・製作 【研究開発】PCV本格調査装置基本設計・要素試作 【研究開発】RPV内部調査技術の開発計画立案 【研究開発】公募手続き等 公募手続き完了後開始																		
		(実績) ○【研究開発】格納容器内部調査技術の開発 ・PCV事前調査装置設計・製作(継続) ・PCV本格調査装置基本設計・要素試作(継続) ○【研究開発】圧力容器内部調査技術の開発 ・公募手続き 新規追加	現場作業	【研究開発】RPV内部調査技術の装置設計																		

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで一ヶ月の動きと今後一ヶ月の予定	2月		3月				4月			5月	6月	備考
				23	2	9	16	23	30	6	13	下	上	中	
RPV/PCV健全性維持		圧力容器/格納容器の健全性維持	(実績) ○【研究開発】圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続) (予定) ○【研究開発】圧力容器/格納容器腐食に対する健全性の評価技術の開発(継続) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施(継続)	検討・設計	【研究開発】原子炉容器の構造材料腐食試験										
				現場作業	腐食抑制対策(窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減)										
炉心状況把握解析		炉心状況把握解析	(実績) ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析 事故時プラント挙動の分析(継続) ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化 シビアアクシデント解析コード高度化(継続) (予定) ○【研究開発】事故時プラント挙動の分析 事故時プラント挙動の分析(継続) ○【研究開発】シビアアクシデント解析コード高度化 シビアアクシデント解析コード高度化(継続) 公募手続き等	検討・設計	【研究開発】事故時プラント挙動の分析										
				現場作業	新規追加 △MAAP高度化プロジェクト会議(3/11,12) 【研究開発】公募手続き等 △外部評価委員会 △外部評価委員会 公募手続き完了後開始										
燃料デブリ取り出し準備	取出後の燃料デブリ処理・処分安定保管	模擬デブリを用いた特性の把握 デブリ処置技術の開発	(実績) ○【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・模擬デブリ作製条件検討、MCCIデブリ条件・計画検討(継続) ・機械物性評価(U-Zr-O) ・福島特有事象の影響評価(海水塩・B4C等との反応生成物)(継続) ○【研究開発】デブリ処置技術の開発 ・シフト検討に向けた技術的要件の整理、処置技術の適用性検討(継続) (予定) ○【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・模擬デブリ作製条件検討、MCCIデブリ条件・計画検討(継続) ・機械物性評価(U-Zr-O)(継続) ・福島特有事象の影響評価(海水塩・B4C等との反応生成物)(継続) ○【研究開発】デブリ処置技術の開発 ・シフト検討に向けた技術的要件の整理、処置技術の適用性検討(継続)	検討・設計	【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・模擬デブリ作製条件検討、MCCIデブリ条件・計画検討 ・機械物性評価(U-Zr-O) ・福島特有事象の影響評価(海水塩・B4C等との反応生成物)										
				現場作業	△外部評価委員会 【研究開発】模擬デブリを用いた特性の把握 ・機械物性評価(酸化物系、金属系) ・福島特有事象の影響評価(コンクリート、Gd等との反応生成物) 【研究開発】デブリ処置技術の開発 分析要素技術の検証、保管に係る基礎特性評価										
燃料デブリ技術の開発	燃料デブリ技術の臨界管理	燃料デブリ臨界管理技術の開発	(実績) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ臨界管理技術の開発										
				現場作業											
燃料デブリ技術の開発	燃料デブリ技術の収納・移送・保管	燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発	(実績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 ・燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発計画立案(継続) (予定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 ・燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発計画立案(継続)	検討・設計	【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発										
				現場作業											

凡例

- : 検討業務・設計業務・準備作業
- : 状況変化により、再度検討・再設計等が発生する場合
- : 現場作業予定
- : 天候状況及び他工事調整により、工期が左右され完了日が暫定な場合
- : 機器の運転継続のみで、現場作業(工事)がない場合
- : 2014年4月以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載